

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」 地域シンポジウムを石川県で開催しました！

令和4年10月18日、「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会(※)」地域シンポジウムを内閣府と共催で開催し、県内外の企業の代表や社長等、約320名の方にご参加いただきました。

(※)女性活躍の推進には組織トップのコミットメントが重要との想いの下、H26に企業経営者等9人で発足。参加した男性リーダーは、様々な女性の意欲を高め、その持てる能力を最大限に発揮できるよう、男性リーダーが自ら取り組むことを表明する「行動宣言」に沿って、各組織における女性活躍推進の取組を進めるほか、女性活躍推進の重要性を組織の内外に発信。

基調講演では、本会に参加されているアサヒグループホールディングス株式会社の勝木社長から、女性活躍推進

に関する想いと取組事例をご紹介いただきました。また、その後のパネルディスカッションでは、県内男性リーダーとして株式会社北國フィナンシャルホールディングスの杖村社長、コマニー株式会社の塚本社長、そして県内女性リーダーとして株式会社小林製作所の黒川Cooに登壇いただき、女性活躍推進における組織トップのコミットメントの重要性についてお話しいただきました。

以下では、パネルディスカッションの概要をご紹介します。



Theme

女性活躍推進における組織トップのコミットメントの重要性

女性活躍推進に対する組織トップのリーダーシップについて

- ・組織トップが推進してきた中で、取組の課題として“真に女性が働きやすい環境”が何かを考え、人事制度や評価の仕組にメスを入れ、女性役員を筆頭として委ね白紙から刷新した。
- ・トップダウンで進めることに加え、推進委員会を置いてボトムアップで進めることも重要。また、組織トップが発信し続けることも重要。

男女問わず多様な人材が輝ける、これからの経営・組織の在り方について

- ・全員参加型の経営を実践し、社員全員で会社を作り上げてきた。通常だと難しいことも、社員の皆で知恵を絞ることによって、不可能を可能にすることができた。
- ・一社だけが女性活躍を推進しても限界がある。地域全体、日本全体が制度や風土を作り上げていくことが重要。女性が働きやすい職場は男性にとっても働きやすい職場である。女性活躍は、企業の持続可能な発展に不可欠である。

〈シンポジウム参加者へのメッセージ〉



中小企業はなかなか余力が無く、女性活躍にどのように取り組んだら良いか？

始めは難しいと思うものの、トップが勇気を持ってやれば、やって良かったと思ってもらえる自信がある。大企業のみではない。人口が減っていく中で、新入社員が企業を選ぶ時代になるので、企業戦略として、D&Iや女性活躍が入っていない企業は生き残れないのでは。

男性リーダーの意識改革、女性自身の意識改革をどう進めたら良いか？

- ・古い体質の企業であっても、トップだけでなく社員全員で、粘り強いコミュニケーション、粘り強い対話を重ねて、社員皆で議論してきたことで改革を進めることができた。
- ・女性の場合、昇格するには、男性の2倍努力しないと認められえないと思っている部分がある。「負けなぞ」という気持ちでは競争になってしまうので、上司含めコミュニケーションを積極的に取っていくことが大事。頑張っている女性はどこにいても評価されるので、めげずに頑張してほしい。

〈参加者からの声〉



- ・女性が働きやすい職場＝男性も働きやすい職場、非常に印象に残った。当社では大卒の求人を行っているが、なかなか振り向いてもらえない原因がそこにあるのではないかと思った。建設業の働き方改革が課題となっているが、時短や割増手当だけでなく、根本的な働き方改革に取り組まなければならない。
- ・具体的な事例やストーリーを聞かせてもらい、女性活躍推進している企業の経営者の考えが良く理解出来て大変勉強になった。弊社に女性活躍の視点が欠けていたと経営者として反省している。
- ・数値目標だけではなく、コミュニケーションをとることの必要性をすごく感じた。それと同時に政策をデザインするという考え方もとても共感でき、誰かだけが頑張るのではなく、全体、全員で参加してミッションを達成するためのビジョンを持ち作ること。バリューを考え出すことがとても必要だと思った。そうなるための環境づくりのための意識を組織トップが持つことがとても大切だと感じた。

今回は、パネルディスカッションに登壇いただいたコマニー株式会社の女性活躍推進の取組をご紹介します。